

10周年記念シンポジウムレポート

2013. 12

ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク

平成 25 年 11 月 30 日(土)、長野市ふれあい福祉センターで開催されました当ネットワークの 10 周年記念シンポジウムには、県内各地より約 90 名のご参加、約 35 団体の出展をいただきました。誠にありがとうございました。

この 10 年間、ささえあい応援金、物品情報、情報市場の活動を展開してまいりました。関わった方々が集い、あらためてつながりを持つことができた、実りのある時間となりました。

当日は「企業と地域社会のいい関係を考える～ボランティア・市民活動を支えるくしくみづくり～」をテーマに、支援ネットの活動をふまえたパネルディスカッション、名刺交換のフリータイム(ウィン・ウィン・バザール)、第 117 回目を迎えた情報市場拡大版の三部構成で、様々な角度から「いい関係づくり」について意見交換しました。



↑ パネルディスカッション

→ 情報市場

すでに、社会貢献活動が、企業の大きな柱として、価値を高める時代となっています。

企業側からは、地域の抱えている課題解決にむけてボランティア・市民活動団体等と連携するには、災害支援等非常時だけでなく「普段から地域のニーズを知る」こと、そして事業として成果を出すためには組織全体の意識改革が必要ゆえ、継続し、担当者も経営者も自分たちの貢献活動が「実際地域にどう生かされているのかを知る」ことも大切、という声がありました。



災害支援として、靴の寄付を行いました。飯山の雪害のときは長靴が必要でしたが、靴はサイズが合わないが無駄になります。現地のボランティアの方が、日ごろの活動から地元の方を知っていて、事前にサイズを調べて情報をくれたので、無駄がありませんでした。

また、ピースプロジェクトという世界的なマークがあります。そういう組織を通じて、難民を助ける会を支援しています。今日皆さんの活動を知り、お店で情報発信のスペースを提供できると考えています。

(株式会社シューマート代表取締役 霜田 清さん)

社会貢献は、どういふつながりを持てるか、ということなんです。トーストドリームフェスタは 21 回目で、売上金は全て寄付させていただいています。最近は一輪車を児童館に贈らせていただいています。社員が見に行けば、子どもたちが感激してくれたのがわかります。そういうことを社内で共有することも大切です。企業がかかわるときは、社員がいかに目的をあわせるか、そして継続するか、が大切だと思います。(トーストグループチューリップライフ株式会社 長野支店支店長 今井 安さん)



社会貢献活動は企業の大きな柱となっています

(コメンテーター 蒲田尚史さん(さわやか福祉財団))

「企業は利益を上げるのが組織の目的であり、そのためには、人づくりがとても大事です。従業員が社会貢献・ボランティア活動に参加することで視野が広がり、結果として人づくりに繋がることを理解する経営者が徐々に増えてきています。

この「企業の戦略的社会貢献」の考え方を活動団体も理解し、出会いの場を設営、参加した従業員とのパイプづくりから始められてはいかがでしょうか。

寄付に関しては、楽しみながら自然にできる仕組みを考え、ウィンウィンの関係を築く、長野でもそういうことを考えられてはいかがでしょうか。」

また、市民活動団体側からは、人・モノ・金の悩みが常にある中で、誇りや使命を持ち夢を実現させたいが、企業側との顔の見える関係がなかなかつけれない、具体的に伝えあうことも大切、という声がありました。



何もない状態から始めました。クリーニング事業では、企業さんから卓球台をいただき、たたむ台として使っています。グループホームでは家具も頂戴しました。我慢してやっていこうか、と考えているものでも、情報にのせていただければ、知ることができました。
これからは、障がいのある仲間たちも地域の役に立つ、いろんなしかけをしていきたいと思っています。もっともっと人とつながって、ウィンウィンの関係をつくりたいと思います。
(社会福祉法人廣望会アトリエCOCO 所長 綿貫好子さん)



企業にとっては「いらぬ物」かもしれませんが、されど物品。10年前はほとんどなかった、ボランティア・市民活動団体と企業がつながる「きっかけ」になりました。企業が出してくれると、企業まで取りに何うわけです。企業の社員さんが、普段出会わない人たちと出会えた。企業側も変化した、と当時感じました。喜んでくれる顔を見て、担当者の意識が変わると、提供が継続的になり、事業も続いてきました。
(支援ネット理事・長野市ボランティアセンター 戸田)



応援金の公開審査会で、「通らなかつたら畑はやるのかやらないのか」と聞かれ、苦し紛れに「やります」と言いました。元気がなかった人が、自然に触れる中で元気になる。成果が出てきていると思います。
それまでは皆で手を出してやるのがいい、と人力でしていましたが、マメトラがなければ、この10年、続かなかつたらうな、と思います。
(NPO法人心の休憩所アトリエ虹 代表理事 池田 幸雄さん)



最初は自分たちがダンスを楽しんでいましたが、社交ダンスの経験を活かし、高齢者の健康づくりを目的にしたダンスを考案しました。ボランティアに携わっている中で、病院や施設から依頼をいただいて、会員さんと飛んでいきました。今は獅子舞も含め、皆さんに喜ばれています。
支援ネットでは、企業さんからカラオケボックスのミラーボールをいただいた後、応援金も応募しました。
活動の中で、ボランティアの大切さを感じています。これからも楽しく広めていきたいと思っています。
(ハッピーサークル連合会 若山 典子 さん)



このように、誰もが安心して暮らせる豊かな地域社会をつくるには、現場のニーズに即したきめ細やかな支援と、ダイナミックな連携が必要です。

企業の社会貢献活動やNPOボランティア・市民活動への支援は、支援ネットのような両者をつなげる、コーディネートする〈しくみ〉が有効な結果を生んでいます。

「つながるきっかけ」はいたるところに潜んでいます。多様な主体の協働による豊かな地域社会をつくるために必要な『ウィン・ウィンの関係』づくり。それには、業種や領域、立場を超えて顔を合わせることが、第一歩になるのではないでしょうか。



次回の情報市場は、さっそく12月18日(水) 16時15分～ふれあい福祉センターで開催します。また是非お出かけください。

以上

活動みほん市(Win Win Bazaar(ウィン・ウィン・バザール))

出展団体・企業一覧

- 1 社会福祉法人 廣望会 アトリエC o C o
- 2 社会福祉法人 日本聴導犬協会
- 3 長野市障害ふくしネット
- 4 精神保健福祉ボランティア団体 共同出展
 - ・ポプラの会
 - ・桐の会
 - ・ホワイトナッツ
 - ・社会福祉法人絆の会
 - ・社会福祉法人長野市社会事業協会ハーモニー桃の郷 ボランティアはばたき
 - ・社会福祉法人 りんどう会
- 5 山楽会
- 6 まちの縁側育みプロジェクトながの
- 7 若穂団地福祉会
- 8 ハッピーサークル連合会
- 9 IDAtion
- 10 NPO 法人心の休憩所 アトリエ虹
- 11 (公財) AFS 日本協会 長野北信支部
- 12 NPO 法人プロ家庭教師のネットワーク・アイウィル
- 13 長野市災害ボランティア委員会
- 14 長野元気プロジェクト
- 15 被災地オテガミプロジェクト推進チーム
- 16 きっかけバス 47 プロジェクト長野
- 17 株式会社シューマート
- 18 トーシスグループ
- 19 ケーズタウン若里
- 20 株式会社NTT ドコモ
- 21 長野中央ライオンズクラブ
- 22 長野ローターアクトクラブ
- 23 長野東ローターアクトクラブ
- 24 特定非営利活動法人みどりの市民
- 25 長野市地球温暖化防止活動センター
- 26 長野県みらいベース
- 27 長野市市民公益活動センター ふらっと
- 28 長野市ボランティアセンター
- 29 長野県企画部
- 30 社会福祉法人 育護会 須坂技術学園
- 31 NPO法人ムワンガザ・ファンデーション
- 32 松代テレビ局
- 33 中澤勝一建築株式会社
- 34 NPO 法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト チャイルドラインながの
- 35 IT・S の会
- 36 JICA
- 37 ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク (順不同)

付 支援ネットについて

ながのボランティア・市民活動支援ネットワークは、地域からボランティア・市民活動を進める団体に様々な経営資源（物品・情報・資金・人材など）を提供し、経営基盤の強化を図ることを目的としています。また、資源提供のプロセスを通じて、企業・団体とボランティア・市民活動団体の連携を促進し、新しい形の社会貢献活動を生み出していくことも目的としています。そして、単発的な社会貢献や寄付だけでなく、継続的な支援のネットワークを作り出すことを目指しています。

■ 歩み

1999 年 社団法人長野青年会議所福祉政策委員会主催
公開シンポジウム

2000 年 社団法人長野青年会議所
生き甲斐創造社会推進委員会
福祉ネットワーク研究会発足

2003 年 ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク設立(写真)



■ 事業

物品情報

1. 経営資源提供システムづくり事業

企業などからの寄付物品（経営資源）を、ボランティア・市民活動団体や福祉施設等にマッチングし、団体等の活動の維持・拡大に貢献した事例を積み重ねてきました。

ささえあい応援金

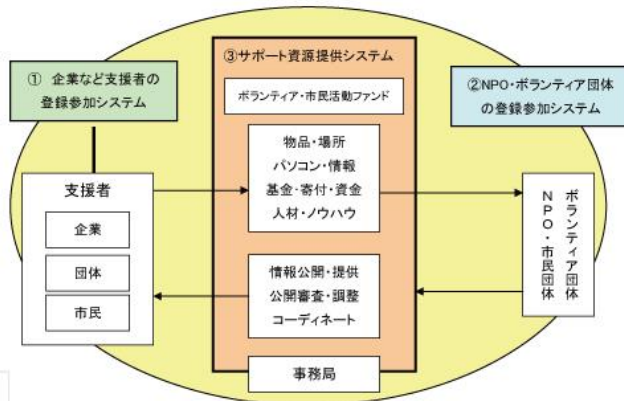
2. 支援ファンドによる活動支援事業

公開審査会を開催し、地域のニーズに即した新しい取り組みや団体を応援してきました。助成金の財源は全額当ネットワーク会員の会費によるファンドとなっています。

月例情報市場

3. 行政・企業・NPOのネットワークづくり事業

ボランティア・市民活動団体と行政、企業・団体等の開かれた情報交換の場の先駆けとして、毎月第3水曜日に継続中です。



■ 事務局

〒380-0813 長野県長野市緑町 1714-5 長野市ボランティアセンター内

TEL : 026-227-3707 FAX : 026-224-1513

E-mail : info@nagano-shien.net URL : <http://www.nagano-shien.net/>

ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク 会員一覧

■正会員

平成 25 年 9 月 1 日現在

飯島建設株式会社
株式会社エーシーエ設計
北野建設株式会社
栗田病院
芝上建設株式会社
通建連合トースグループ労働組合長野県総支部
株式会社電算
社会福祉法人長野県社会福祉協議会
社会福祉法人ながのコロニー長野福祉工場
ながの子どもを虐待から守る会
社会福祉法人長野市社会福祉協議会
社団法人長野青年会議所
株式会社鍋久
日本労働組合総連合会長野県連合会
株式会社八十二銀行
株式会社ヒシヤ
特定非営利活動法人ライフデザインセンター
レントオール長野株式会社
特定非営利活動法人ワーカーズコープかがやき

■賛助会員

円福寺愛育園
社会福祉法人廣望会地域生活支援センターCoCo
さざんかの会（アトリエ虹）
住友生命保険相互会社 長野支社
中部電力株式会社 長野支店
特定非営利活動法人どんぐり福祉会
中谷商事株式会社
長野エフエム放送株式会社
長野県労働金庫
長野東ロータリークラブ
日東電気工事株式会社
株式会社ブラット
特定非営利活動法人ワークハウス太陽
他個人会員

■ファンド会員(寄付者)

西沢印刷株式会社